

# 「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

## 地域と学校の連携・協働体制構築事業の取組事例

### 「コミュニティ・スクールの推進に向けた取組」(宮城県石巻市)

#### 取組の概要や経緯

石巻市では、各運営協議会の代表者による石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、市全体のコミュニティ・スクールに関わる理解の周知や各学校運営協議会間の情報共有等を行っている。また、石巻市コミュニティ・スクール推進フォーラムもその一環として行っている。

#### 内容

- 1 コミュニティ・スクールの推進を図り、学校間、地域間の連携、協働体制を構築する。第2回の会議の際には研修として「あらためて考えようコミュニティ・スクールとは」と題し、文部科学省CSマイスター 今泉良正氏から講話をいただき、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。
- 2 例年実施している先進地視察に代わり今年度は、「全国コミュニティ・スクール研究大会in仙台」に検討推進委員が参加し、学校運営協議会の取組等について研鑽を深めた。
- 3 文部科学省CS名誉マイスターでNPO法人まちと学校のみらい代表理事である竹原和泉氏を講師に招き、「コミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動の一体的推進について」と題した講演をいただいた。当日は学校運営協議会委員や地域住民、教職員118名が参加し、石巻市推進フォーラムを開催した。

#### ポイント

- 1 石巻市全体のコミュニティ・スクールを推進するため、年4回の石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会の充実を図る。
- 2 石巻市のコミュニティ・スクール推進フォーラムを実施し、教職員や地域住民等へのコミュニティ・スクールに対する理解促進に努める。

#### 成果

- ・市内48校(小・中・高等学校)すべてに39の学校運営協議会(うち合同の学校運営協議会は5つ)が組織された。
- ・検討推進委員会で話し合われた内容を各学校運営協議会で共有し、それぞれの推進に役立てることができた。
- ・各学校運営協議会では、情報の共有や委員と教職員・児童・生徒との「顔の見える関係づくり」が進み、学校課題や地域課題等についての話し合いが少しずつ充実してきた。また、委員においても当事者意識が感じられる発言が増えてきた。

#### 今後の方向性

- ・各学校運営協議会の会議・活動内容等を保護者、地域住民等に周知する。
- ・学校運営協議会の役割の理解を図るとともに、熟議を取り入れた会議を行い、子供や地域住民等の意見も取り入れた、地域とともにある学校づくりを推進する。

